



さかえ

平成28年
11月号
第396号

発行 / 栄村役場



10月30日(日)今年は村制60周年ということで、収穫祭と文化祭の合同開催となりました。文化祭では合唱や民謡、演奏やダンスなど様々な発表が行われました。

収穫祭では栄村の秋の味覚がふんだんに提供されました。またその中で餅つき体験が行われ、「よいしょ」「よいしょ」というかけ声のもと、力いっぱい餅をついていました。ついた餅はその場で提供され、つきたての餅を満喫されていました。

主な内容

- 村制60周年記念式典……………P2-3
- さかえ倶楽部スキー場情報……………P5
- デマンド交通ほか……………P7
- 苗場山麓ジオパーク……………P10
- 保健だより……………P12
- 議会報(第180号)……………P14-23



栄村 議会報

発行 栄村議会
責任者 福原和人
編集 議会報編集委員会

第180号

内容：○平成27年度 一般会計・特別会計 歳入歳出決算額 ○主な可決案件 ○請願審査結果
○一般質問9名 ○平成28年度予算推移 ○栄村議会活動報告

平成27年度 一般会計・特別会計 歳入歳出決算額

区分	一般会計	特別会計(11会計)
歳入額	41億 169万円	12億 7,079万円
歳出額	36億 5,699万円	12億 873万円

平成27年度一般会計決算並びに特別会計決算については、議員全員起立(賛成)により認定されました。

※詳細については、広報さかえ10月号(第395号)2ページから5ページを参照して下さい。



8月臨時会・9月定例会 主な可決案件

案件名	内容
—8月臨時議会— ◆平成28年度栄村ケーブルテレビ特別会計補正予算第1号	<ul style="list-style-type: none"> 青倉地区農地改良工事によるケーブルテレビ電柱等移設工事費用 補正額：14,400千円
—9月定例会— ◆平成28年度栄村一般会計補正予算第2号	<ul style="list-style-type: none"> 人事異動に伴う職員並びに臨時職員の人件費の増減、社会保障・税番号制度運用開始に伴う情報システム委託料、税の申告相談システムデータ入力委託料、社会福祉協議会への補助金、飯山赤十字病院への地域中核医療機関支援補助金、観光協会への着地型観光商品開発費補助金、村道修繕料の追加、消火栓機器の更新費用など 補正額：16,545千円
◆平成28年度栄村国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算第2号	<ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者支援金等の前々年度清算に伴う支援金額確定及び介護納付金の前々年度清算に伴う納付金額確定による追加、前年度の療養給付費の確定に伴う返還金の追加 補正額：7,162千円
◆平成28年度栄村国民健康保険特別会計(施設勘定)補正予算第2号	<ul style="list-style-type: none"> 診療所職員の給与改定に伴う追加、参考書籍等の購入費の追加 補正額：2,406千円
◆平成28年度栄村秋山診療所特別会計補正予算第1号	<ul style="list-style-type: none"> 前年度繰越金の確定に伴い、その全額を医薬品費に充てるもの 補正額：1,074千円
◆平成28年度栄村介護保険特別会計補正予算第2号	<ul style="list-style-type: none"> 職員の人事異動並びに介護保険業務システム改修委託料など 補正額：3,568千円

案 件 名	内 容
◆平成28年度栄村介護サービス特別会計補正予算第2号	・職員の給与改定による増、代替看護師の賃金、耐雪型ガレージの建築面積増による工事請負費の追加、介助用バスリフト購入など ・補正額：10,264千円
◆平成28年度栄村簡易水道特別会計補正予算第2号	・青倉地区基盤整備事業による水道管の移設、北野・中野・極野水道及び雪坪・志久見・柳在家水道の配水池の流量計の取り換え費用、森地区水道施設の水源転換工事の詳細設計費 ・補正額：8,400千円
◆平成28年度栄村生活排水処理特別会計補正予算第2号	・緊急時の対応分として予備費として計上 ・補正額：660千円
◆平成28年度栄村農業集落排水特別会計補正予算第1号	・緊急時の対応分として予備費として計上 ・補正額：836千円
◆平成28年度栄村スキー場特別会計補正予算第1号	・圧雪車の修繕料 ・補正額：1,400千円
◆栄村公告式条例の一部を改正する条例の制定について	・本年9月1日の農協合併で農協の名称が変更になったことに伴い、条例に定める村内の5箇所の掲示場の名称を変更する
◆人権擁護委員候補者の推薦について	・箕作 島田たつ子氏
—追加議案— ◆平成28年度栄村一般会計補正予算第3号	・固定資産税評価替えに伴う鑑定委託料と、栄村農産物販売所出荷運営組合への補助金 ・補正額：7,110千円
◆栄村穀類乾燥調製施設の指定管理の指定事項の変更について	・北信州みゆき農業協同組合が9月1日の合併に伴い、ながの農業協同組合となったことによる指定管理者に指定する者の住所、名称、及び代表者名が変更となった ・変更前：長野県飯山市飯山3567番地 北信州みゆき農業協同組合 代表理事組合長 櫻沢 和美 ・変更後：長野県長野市大字中御所字岡田131番地14 ながの農業協同組合 代表理事組合長 豊田 実
◆副村長の選任について	・森重俊幸氏

請願審査結果

請願件名	請願内容	請願者	紹介議員	審査結果
臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願	<p>安倍政権は、臨時国会でTPP協定を批准させようとしています。参議院選挙の結果を見てもTPP反対の国民の意思は明らかです。先の通常国会で示された資料は全て黒塗りで、国民への説明も情報公開も十分ではありませんでした。不十分な情報の下での審議ですら①TPP協定には関税の撤廃・削減をしない「除外」規定が一切存在しないこと②付属書で、日本だけが農産物輸出大国5ヵ国との間で更なる関税撤廃に向けた見直し協議を特別に義務付けられていること③一切手を付けさせなかったという155の細目も、品目で見れば「無傷」のものはただの一つもないという事実を認めざるを得ませんでした。これらの内容が「農林水産分野の重要五品目などの聖域の確保を最優先し、それが確保できないと判断した場合は脱退も辞さないものとする」とした国会決議に違反していることは明らかです。またTPP12ヵ国で国内手続きが完了している国は一つもありません。アメリカの動きは両大統領候補がTPP反対を表明するなど混迷を深めて、TPPの発行自体危ぶまれています。このような中で日本が先んじて批准すべきではありません。以上の趣旨に基づき、下記の事項について求めます。</p> <p>1.臨時国会でTPP協定の批准は行わないこと。</p>	栄村農民組合 山本一郎	山本千津子	<p>採択</p> <p>※意見書案として賛成多数で可決</p> <p>賛成議員10名 反対議員1名 (議長除く)</p>

請願件名	請願内容	請願者	紹介議員	審査結果
<p>義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願</p>	<p>義務教育の無償化は、憲法に規定されている大切な原則です。この原則を守るために義務教育費国庫負担制度が1953年（昭和28年）に成立しました。それによって自治体や保護者負担も大きく減りました。しかし、1985年から国の財政状況を理由として次々と対象項目を外し一般財源化してきました。2006年の「三位一体」改革で、義務教育費国庫負担制度は堅持されたものの、国庫負担が減らされたうえ、地方交付税として配分されますが、その地方交付税も減らされています。今後更に制度廃止も含めた検討がなされる可能性もあります。この制度は教育の機会均等とその水準の維持・向上を図るもので、現行義務教育制度の根幹をなしています。国が財政的な責任を果たさなければ、都道府県、市町村による教育条件格差ができてしまい、住んでいる地域によって教育の質に差ができる事態が生まれかねません。自治体の財政力によらず子どもたちが等しく教育を受ける権利を保障するために義務教育費国庫負担制度を堅持・拡充すべきであり、国庫負担率を3分の1から2分の1へ再び戻すべきと考えます。</p> <p>1.教育の機会均等とその水準の維持向上のために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に復元すること。</p>	<p>栄村教職員組合 執行委員長 手塚健介</p>	<p>鈴木敏彦</p>	<p>採択</p> <p>※意見書案として全員賛成（11名）で可決（議長除く）</p>
<p>国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める請願</p>	<p>2011年、衆議院・参議院ともに全会一致で義務教育標準法が改正され、小学校1年生に35人学級を導入することが決まりました。併せて財源確保に努めると定めました。2013年以降、35人学級拡大の動きは止められ、2016年予算編成において35人学級を求める国民の強い声に反して文部科学省は35人学級推進の予算要求さえしない状況でした。長野県では2013年に30人規模学級（35人基準）を中学校3年生まで拡大し、これで小中学校全学年35人学級となりました。しかし、小学校では本来配置されるはずの専門教員が配置されなかったりなど課題も多く残されています。いじめや不登校、生徒指導上の様々な問題への対応など多様化する学校現場において、教員が一人一人の子どもと向き合い、行き届いた授業、きめ細やかな対応を可能にするためには少人数学級は欠かせません。このために厳しい財政状況の地方公共団体に負担を強いることなく、国の責任において早期に実現する必要があると考えます。国は計画的に35人学級を勧めていくことや、学級増に伴う教員を正規で配置すること。また、長野県は少子化の中で独自に教員を配置するなどして複式学級を解消していますが、地方自治体の財政的負担は大きなものとなっています。何処においても行き届いた教育が受けられるため、国の責任において複式学級を解消するよう学級定員を引き下げることが大切であると考えます。教育予算を増やすことで35人学級を実現することは十分可能です。</p> <p>1.どの子にも行き届いた教育をするために、国の責任による35人学級の計画的推進と教育予算の増額を求める意見書を、政府及び関係行政官庁宛に提出していただきたい。</p> <p>2.国の複式学級の学級定員を引き下げよう求める意見書を、政府及び関係行政官庁宛に提出していただきたい。</p>	<p>栄村教職員組合 執行委員長 手塚健介</p>	<p>鈴木敏彦</p>	<p>採択</p> <p>※意見書案として全員賛成（11名）で可決（議長除く）</p>



桑原一富議員

北野天満温泉の湧水を利用した小水力発電の取り組みについて。

長 研究を進めたいと
村 思っている。

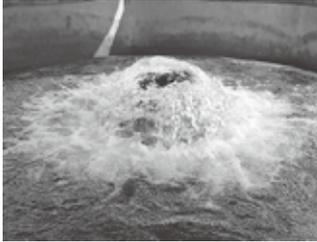
栄村の自然エネルギー活用、特に小水力発電事業について

質問

栄村は、全体の約93%が森林原野で覆われている。小川の数も多く、水量も豊富である中で自然エネルギーの活用方法は、特に北野天満温泉には今も大量の水が湧き出ている。この水を活用した小水力発電所の取り組みについて伺う。

村長

自然エネルギーを活用した事業は充分必要で、栄村の重要産業にもなっていると考えている。北野天満温泉の湧水についても今後、特命対策課で専門の方へ聞いたり、調べたり、研究を進めたいと思っている。



学校給食費の無料化を

質問

年々児童数が減少していく中で、如何に子育てし易い環境づくりをするか、子育て支援策が大きな課題である。子供に掛かる経費が大きい中で、小・中学校の給食費を無料にし、保護者負担の軽減を図りたい。

村長

学校給食費の無料化、そして保育料等も一緒に研究し、栄村に住めば子供・子育ては安心・安全でいられるPRをしたり、産まれてから高校を卒業するまでの子供たちの一連した子供・子育て支援対策を研究したいと考えている。

教育長

現在、学校給食費については約3分の1を4月から補助している。学校給食法では保護者の関わり方も大事である事から、学校設置者の負担と保護者の負担が明確に決められているので、保護者と一緒になって運営していく事が望ましいと考える。



石沢一男議員

箱物行政等、村民に対して非常に説明不足では。

長 今後は、地元、関係者と
村 充分詰めて研究したい。

長野県北部地震の時の緊急雇用促進事業はその後どうなったのか

質問

3年間この事業を行ってきたが、実績はどうなったのか。また説明会等は行われたのか。伝統工芸の継承ということで「和紙」「下駄」「猫つぐら」「こね鉢」の生産者が再三集まり、JTB・リクルートを含め議論してきたが、最終決定日に理事長が来ていない。「こんな大事な会議にトップが来ていない」ということはどういうことなんだ！」と非常に遺憾の意を表したわけだが。

商工観光課長

「雇用創出が期待される事業を民間企業、NPOに委託して実施する」ということから振興公社に委託した。栄村の観光プラットフォーム化を目指したが、事業の説明不足から達成できなかった。

た。今後、観光のワンステップ化に向けて体制整備が必要である。

箱物行政等が村民に対して非常に説明不足ではないのか

質問

直売所等の建設整備計画で何か打ち合わせ会議をやったが、物産館から事業の説明を求めても、「道の駅は商工観光課、直売所の事業は産業建設課で関係ない」と縦割り行政の悪い面ばかり出てきた。本来村民を巻き込んだプロジェクトチームでの全体構想の検討が必要ではなかったのか。また森駅前震災復興祈念館も村民の中には何のために、どう活用するのか、できた事さえ知らない人もいる。村、商工会等で有識者を交えて「森駅前震災復興街づくり委員会」を立ち上げて3年間程、視察等を踏まえながら検討してきたが、いつの間にか一方的に今の施設ができた。議会でも一度ストップをかけた。事業に対しての見極めが必要であり責任もあるのでは。

村長

でき上がった施設を今後どう利用していくか、関係者で協議する。今後は地元、または関係者と充分詰めて建設について研究したい。

総務課長

村民には広報誌で周知を図ってきたが、今後は関係者と話し合いを充分行う中で進めていきたい。



樋口武夫議員

栄村集落営農組織育成事業について、補助金 200 万円の根拠は、

村長 できるだけ広く支援したいということを設定した。

栄村集落営農組織育成事業について

質問

この事業は平成 28 年度新規事業である。本年度予算は 600 万円で、目的は次世代の担い手の体制強化を図るための集落営農組織等が実施する農業用機械施設等の設備を支援するために行う。対象者は農業生産法人、農業営農組織。対象事業は農業用機械・施設等の導入。補助率は事業費の 2 分の 1 以内。農業法人 200 万円、集落営農 100 万円。財源はふるさと納税の農業支援目的寄附金を活用。当時の産業建設課長に現状の農業機械の価格に対して補助金額、補助率の見直しをお願いしたところ「検討させていただきます」と言う事だったが、8 月 10 日の会議では農業生産法人、集落営農が一律 200 万円の他は変わりなし。そ

ここで質問だが、当時の産業建設課長と引き継ぎがあったのか。その後、どの様に検討されたのか。

産業建設課長

課内で検討し、課長会議で審議して

質問

補助金 200 万円の根拠は。

村長

厳しい中で少しでも農家を応援したいという意味で、できるだけ広く支援したいという事で補助事業の内容を設定した。

質問

農業生産法人、集落営農の条件を一緒にした根拠は。

産業建設課長

農地を維持、地域の活性化を図り、維持していく事は一緒であるということ。

質問

希望者の予算が本年度予算の 600 万円を超えたので各団体で話し合いで決めてほしいという方法はおかしい。それぞれの組織が希望を出した補助額は補正を組んでも叶えてほしい。来年度はもつと多くの団体から沢山の希望が出ると思うが、今年と同じ決め方をしていくのか。新規特命対策課において村の基幹産業である稲作農業の継続維持のために国、県の有利な補助事業の検索をお願いしたい。

村長

各団体の方々と、一緒にこの冬の間を検討すれば良いと思う。農政対策という事で、懇談の上でまた検討していきたい。



山本千津子議員

医療・介護総合法が来年 4 月から村も実施するが、村民への影響は、

村民には今までどおりサービスの変わりはない。

国の介護保険制度改悪について

質問

介護総合法が期限切れで来年実施される。生活援助の「手摺りを付ける」なども援助が無くなり、要介護 1、2 の方の「介護保険外し」を予定しているとニュースになっている。初期の介護援助が大切なことだ。予算に限度を付けてボランティア利用を進めようとしているのではないか。

健康支援課長

事業に移管するのはデイサービスと訪問介護のみ。住宅改修等は今のように行う。要支援 1、2 の方も村のサービスは今までどおり行う。ただ平成 30 年の 7 期の介護保険からは要介護 1、2 が移行するかもしれないと思っている。社協は地域包括支援センターの運営はしない。

聴覚障害者への援助について

質問

行政は難聴の方へ一歩進んできめ細やかな補助・援助を行うべきだ。飯山市民館で 2 カ月に 1 回、補聴器の掃除・電池交換相談等行っている。高い値段の補聴器を点検しないまま使わないでいる方へのアドバイスは行うべきではないか。公民館やホールでのマイクを通しての会議に、良く聞こえる安価な機器がある。またスマートフォンで UDT ークを利用すると話した言葉が携帯器に文字となって出てくる。利用してほしい。

村長

安価な機器があれば知りたい。検討してみる。

健康支援課長

診療所では耳元で大きな声を出したり文字を書いたりして対応している。機器などは保健師にも伝え研究してみる。

緊急支援交付金のプレミアム商品券について

質問

販売の前に老人世帯に「何枚買おうか」と予約を聞いたたり、届けたり、細かな気遣いが必要だ。高齢者世帯への灯油補助に回せないか。この券は年金・医療へは使えない。将来への不安がある国民へのごまかしではないか。

村長

購入の方法はヘルパーに頼む方法もあると思う。地域活性化に貢献していると思う。

商工観光課長

今年の券販売は商工会の震災関係の基金を使った。



上倉敏夫議員

国保財政調整基金が6千万円余りとなっているが、村民に還元すべきではないか。

村長 保険者が長野県となるが、名称等はまだ決まっていない。保険料の平準化のために使いたい。

国民健康保険事業について

質問 ①平成30年から、県域を一つ... ②国保財政調整基金が6千万円余りとなっているが、村民(被保険者)に還元する考えはないか。

村長 ②広域化となると保険料が上がる見込みだ。基金は平準化のために使いたい。

住民福祉課長

①平成30年から長野県が責任主体となり、市町村と共に国保の運営をする。作業部会等々により、詳細が決まってくる。

旧宝山荘付近の道路改良について

質問

旧宝山荘付近の道路は、新潟県地籍だが、東部地区への表玄関。非常に狭く、特に冬期間は大変危険だ。津南町と共に県への働き掛けはできないか。また温泉の運営の見通しは。

村長

道路は、十日町地域振興局地域整備部の管理となっている。9月中に要望書を提出する。温泉は津南町のものであり、現状は分からない。ただ利用を求められれば考えたい。

産業建設課長

道路改良の要望は、交差点から40m。現状幅員4.0mを5.5mの1.5車線の拡幅を要望する。9月29日に、津南町の協力も得て要望書を提出する。

※逆巻から東部地区へ入る入口付近はとても狭く、特に冬期間はバス等大型車とのすれ違いができない。



鈴木敏彦議員

避難所に備蓄の無い中、各戸に防災グッズを。

村長 防災グッズについて研究したい。

防災に関連して

質問

9月1日は「防災の日」。本村も長野県北部地震の震災から12日で5年半を迎える。災害などで村民の生命や安全が脅かされてはならないと思う。日頃から防災、避難体制の点検と充実が求められる。①体育館や公民館などの耐震化は大丈夫か。②第二避難所の考えは。③生活弱者への配慮と対応は。④防災グッズを全戸に配布する考えはないか。⑤避難所看板について。⑥地区単位のハザードマップの現状は。

村長

①県北部地震を教訓に公民館や体育館など耐震化の準備をしてきている。②第二避難所について数日に渡り避難生活が必要の場ということであるが、備蓄品は置いていない。④防災グッズの関係については研究したい。

総務課長

⑤避難所看板については、景観に配慮し、必

要最小限の数にとどめる研究をしたい。⑥地区のハザードマップについては、青倉、森について作業は終了している。

健康支援課長

③高齢者や弱者への対応は高齢者総合福祉センターが指定されている。福祉避難所への対象者は住民福祉課で把握している。

基金の有効活用の工夫を

質問

現在、それぞれ目的を持った基金があるが、活用面での精査、検討が必要ではないか。また村長の公約にあった「借りやすい制度」の具体化は。

村長

基金は条例に基づいて運用されている。これまでの施策の維持や拡充、発展を考えた時、適正且つ安定した財政運営が求められていると感じている。これから村民に聞き取りもし、借りやすい奨学金制度を設置したいと思う。

オスプレイについて

質問

安全性も不確実な輸送機「オスプレイ」が本村の秋山郷の上空を飛行訓練で飛ぶ計画になっている。県では17の自治体に関わっている。村長の考えは。

村長

これは国の課題だ。17市町村について、どんな状況なのかということ調査したい。



阿部伸治議員

村独自の農の雇用制度を考えられないか。

村長 栄村版雇用制度は必要と考えているし公約にも出している。

業務に対する役場職員の取り組み姿勢について

質問 今年度予算に上がっている事業の中で、すでに遂行できなくなり村民に多大な迷惑を掛けてしまった案件が出ている。各事業の進捗状況をチェックし指導するシステムが機能していないのではないか。

村長

村として今回、指導の目が行き届かなかつたことに大変申し訳なく思っている。現在、人事評価制度に取り組んでいるところで、各職員の仕事の進捗よく状況を把握し指導を徹底したいと計画を進めている。

産業建設課長

各職員には年度当年初「事務分掌表」を定め、各担当を明記した資料を配布し指示をしている。各事業とも時期を逸しないように指示をしているところだが、不定期事務の中で期限に間に合わ

ないような事例があるのも事実で、今後人事評価システムに取り組むことで個別の事務計画を策定する中でチェック体制の強化や話し合いがオープンにいつでも気軽にできる場づくりを進めていく。

農の雇用促進対策に関して

質問

企業誘致というのも難しい昨今、農業関連での雇用促進にも目を向けるべきではないかと考える。当村でも幾つか農業法人が生まれつつある中、雇用促進が期待されて当然と思う。年間120万円程度の助成金を出す国の制度はあるが、使い勝手が悪い。村独自の農の雇用制度を考えられないか。

村長

私も栄村版雇用制度は必要と考えているし公約にも出している。農業だけでなく商業、製造業、建設業等にまで広げた制度作成に向けて取り組み始めている。できるだけ早く要綱等作成する方向なので暫く待つていただきたい。また補助金に対しても特命対策課であらゆる補助金を把握してもらい、様々な要望にうまく結合できる体制づくりに取り組んでいきたい。

質問

定住促進にも繋がる制度になると思うので国レベルの補助金額の提示を期待するが、どうか。

村長

言われたとおりの流れで進めたい。



上倉和美議員

百合居橋架け替え、千曲川安全対策について。

村長 国や県へ直接訴えていく。

村史追加版発行について

質問

村史発行後、既に50年以上経っている。この空白期間を埋めるための追加版が必要では。

村長

今年「村政60周年」の節目であり、協議に入りたいと考えている。

教育長

本年「文化財保護審議会」を立ち上げた。平成35年に刊行できるように計画を進めたい。

百合居橋架け替え、月岡地区千曲川安全対策について

質問

国道117号迂回路完成後に、箕作方面の交通量増が予想される。老朽化による百合居橋、想定外の増水による周辺地区の安全対策は。

村長

湯滝温泉から栄村までの千曲川22kmと、栄村から津南、十日町までの信濃川17kmが国の管轄なので予算が付きにくくなっている。月

産業建設課長

岡、箕作地区の人命優先が大事。県の建設部で昨年7月に「信濃川水系北信県域河川整備計画」が策定され、国の支援、補助金が県事業にも入るというような内容の国の許可を受けた。9月5日に、箕作、月岡地区の代表が第一回の検討委員会を組織した。

ひんご遺跡の保存・展示・活用について

質問

このことについての取り組みが遅いように感じるが、道の駅「またび」の二階に展示は考えられないか。

村長

ひんご遺跡の発掘現場には何度も足を運ばせてもらった。県の歴史博物館に、ひんご遺跡の品物が他の重要遺跡物と同等に展示されていて「これは凄い」と感じた。道の駅の二階は空いているので、遺跡の展示をしてお客さんをお呼び工夫が考えられる。

教育長

県埋蔵文化センターからの調査結果報告書ができてから関係機関等で調整しながら、一番良い方法の保存、活用等図っていくことが望ましい進め方だと思っている。ひんごの発掘調査の場所は、フランセーズ悠の施設がある。あの地域に「良かったなあ」と思えるひんご遺跡の景観ができたら良いと思っている。

商工観光課長

ジオサイト絡みで活用を考えていきたい。



松尾眞議員

新振興計画と特命対策課の関係は？

村長 特命対策課は私が進める新たな仕事に入る。

質問

第六次総合振興計画の策定において、特命対策課はどのような役割を担うのか。村長は、「特命対策課は企画課のようなもの」と言っていたが、特命対策課長は村づくり懇話会で世話人にすらなっていない。栄村震災復興計画が新振興計画の前提となる。復興計画で明記された課題、施策の実現状況について素々案には書かれていない。特に「震災に強い道路ネットワークの構築」の実現状況はどうか。

村長

特命対策課は私が進める新たな仕事に入ってもらおう。振興計画は企画財政係で取りまとめ、それを特命対策課長に閲覧してもらおう。

産業建設課長

県道箕作飯山線が平成31年度供用開始。国道405は改良中。貝廻坂は整備がほぼ完了した。

松尾議員

振興計画はまさに新たな仕事だ。特命対策課がどんな仕事をしているか、もっと具体的に

的に提示してもらいたい。道路は、迂回路がない集落の災害時などの対応方法を、防災計画とともに振興計画で考えるべきだ。

商工観光課の秋山移転の狙い・成果は

質問 観光を発展させるにも、文化行政という考え方が必要だ。商工観光課を秋山に移したが、狙い、具体的な成果は。

村長

ジオパークを中心に考える。秋山郷の宿泊客を2倍にした。イベントは観光協会に移し、商工観光課は企画事業を担当する。

教育長

歴史文化財、文化行政と観光行政は深い繋がりがあつていいと思う。文化行政についての村の構えをしつかり確立する意気込みで充実に努めたい。工夫しながら厚みを増していきたい。

商工観光課長

秋山郷の観光は山岳観光で始まった。原点に戻らなければならないのかと思う。山岳とジオを含めた秋山観光を考える。そして、交流人口を増やす。まだ2カ月で、秋山支所長も兼ねているので、成果はまだ良く分からない。

◆平成28年度 栄村予算推移◆

単位：千円

区分	当初予算	6月補正	8月補正	9月補正	現在の予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	3,885,000	9,000		23,655	3,917,655	32,655	100.84
特別会計							
国民健康保険(事業勘定)	308,209	682		7,162	316,053	7,844	102.55
国民健康保険(施設勘定)	134,341	▲487		2,406	136,260	1,919	101.43
秋山診療所	6,333			1,074	7,407	1,074	116.96
後期高齢者医療	31,129				31,129	0	100.00
介護保険	384,563	▲4,993		3,568	383,138	▲1,425	99.63
介護サービス	70,045	816		10,264	81,125	11,080	115.82
簡易水道	62,155	6,384		8,400	76,939	14,784	123.79
生活排水	67,474	4,617		660	72,751	5,277	107.82
農業集落排水	20,393			836	21,229	836	104.10
スキー場	118,788			1,400	120,188	1,400	101.18
ケーブルテレビ	36,797		14,400		51,197	14,400	139.13
合計	1,240,227				1,297,416	57,189	104.61

※▲は、減額

栄村議会活動報告

◎平成28年4月から9月までの村長並びに議長提出の「議会全員協議会」で議論された項目内容をお知らせします。

◆全員協議会（村長提出）

村長から依頼を受けて議長が招集し、行政上の重要問題等について議会の意見を聞くための協議会です。

開催月	内 容
5月26日	<p>◎特命対策課について 6月議会に提案書を出す。特命対策課の行うことは企画立案のみで、予算は組まない。補助金全般の研究をする。定住対策・振興対策・雇用対策・新エネルギー対策・空き家対策の部門に分けて研究する。臨時職員とし、新たに民間から2～3名採用する。1年契約で最長3年まで。臨時職員は新事業を行う。公約に16項目出したので早急に取り掛かりたい。マスコミにはとても注目されている</p> <p>◎副村長について 9月議会での同意を求め。民間人で40歳以上。男女問わず。行政経験者は採らない。特命対策課に入る。村外者は村民一人以上の推薦を必要とする</p> <p>◎その他 —議員より— ・大課制度をどう精査するか → 失敗だった ・復興計画はどうするか → このまま継続する ・サポートセンターはどうなる → 心の相談のみ行う ・復興支援員はどうなる → 任期が来れば終了となる 他に「応募には動機を書かせよ」「事業を手掛けるには1年でできるか」などが出た ※村長より「公社と社会福祉協議会には役場職員は配置しない」旨の発言があった</p>
9月6日	<p>◎直売所に対する助成金について —村長より— ・今の物産館他2店舗についても今のままでは経営は思わしくない。3店舗が良く話し合いを持たねばならない。直売所は是非自己努力をしてほしい ・物産館2階の活用、栄村加工所の漬物部門の代わりにトマト苑の1階を利用できるのではないかと —議員より— ・経営努力をして自力でやるべき ・役場が議員の意見も聞かず建物を建てた ・建物ありきでは経営は難しい ・役場は2～3年は協力すべきだ など多数の意見があった</p>
9月13日	<p>◎副村長候補者決定についての説明 —村長より— ・マスコミが注目している中、今日まで情報を出さなかった。教育畑の人だが現場経験が豊富で意欲があり、現職をなげうって栄村のために働いてくださる。村外の人ゆえ、こだわりの無い視点で平等にやってくれると思う。栄村の総合戦略会議に出席されていて知り合っていた。家族はいるが単身で村に住む。現在、長野大学社会福祉学部教授で、栄村には12月5日より就任の予定である。 森重俊幸氏（64歳） 神奈川県平塚市に住所あり —議員より— ・「直接本人に会って話をしてみたい」などの意見が出た ※13日、追加議案の同意案として提出され、全員起立（賛成）で副村長として同意されました</p> <p>◎箕作の「田舎暮らし体験住宅」の長期利用について ラフティングで観光を行う「ラスティカ」という団体で、代表 阿部岳志 他1名。山形県小国町でラフティングをやっていたが、公共物の建設等の理由でできなくなり他市町村を探していた。本年8月2日より来年3月末まで月15,000円で体験住宅を長期に渡って貸すことにした。 —議員より— ・1泊や2～3泊する体験型の住宅で、決めていた事を何故守らない ・担当者の主観で決定して良いのか ・長期滞在なら地区の作業・行事にも参加を促していただきたい ・「無料で」との申し出とは虫が良すぎる。貸し賃15,000円は安い ・住宅を売る方向に持っていくべきだ ・村営住宅として貸し付けたのなら住所は村にあるのか ・新しい村の産業として若者の活動を期待したい</p> <p>今後、体験住宅として整備するのは、大久保 阿部源松宅 志久見 広瀬ウタイ宅の2件と報告があったが、この2物件とも未だ手付かずの状態である</p>



◆全員協議会（議長提出）

議員全員で協議します。基本的に月一回開くことにしています。

開催月	内 容
4月28日	◎新議員議席決定について・長野県議会陳情採択通知書について など ・新議員が自分でどの委員会に入るかを決定した ・監査委員 上倉敏夫氏 ・議会報編集委員 松尾眞氏 推薦により決定 ・十日町・津南町・栄村議会連携協議会幹事会 会議報告 飯山線の利便性向上や、SL運行要望活動 など ・長野県議会陳情採択事項 豪雪地帯の道路整備・災害復旧・克雪住宅推進・住宅除雪支援・医療体制確保の充実
5月26日	◎議員の学習 研修について ・8月上旬に長野県町村議会議長会から講師を招き、講義を受けることについて、議題をどうするか 議員の権限・他市町村の議会運営などについて聞くことになった ・7月27日、28日「新潟朱鷺メッセ」でのジオパーク国際フォーラムに参加して議員交流を行うか どうかについて、栄村は参加しないことに決定した ・その他、議員より「議会中は傍聴者に議員と同じ資料を受付に置くべきだ」「補正予算の議案には 丁寧な資料を付けるべき」などの要望が上がった
6月22日	◎議員の学習 研修について ・先月に引き続き、議題について協議した 議員の権限について詳しく知りたい・他市町村の議会活性化について・土日議会・若者や女性議員 の立候補について・本会議の議会運営について ◎北信地区議会議員球技大会について
7月6日	◎先進地視察について・・・2件案が出た ・群馬県南牧村（なんもくむら） 国で一番に消滅する村と言われたが人口が増えている。社会福祉協議会がデイサービスを行っている ・群馬県みなかみ町 30種類以上の体験場所がある 他に「大雪の地域を視察したい」「雪に関する施設見学」など意見が出た ◎林活議員連盟の視察場所について ・生坂村「木の駅プロジェクト」 ・塩尻市「山のお宝ステーション事業」 ・安曇野市「薪ボイラー」
8月8日	◎先進地視察の検討 ◎8月議員参加行事について ◎直売所の決算書についての説明 ◎直売所からの財政援助の要望について ・出荷運営組合長から「2、3年の援助は役場から行う」と約束があったが、本年は無い。本年もお 願いたい ◎長野県町村議会議長会より 宮嶋康史氏を講師に迎え、「議会基本条例」「通年議会」「議員の根 源と義務」について講義を受けた
9月9日	◎先進地視察について ・11月14日・15日 群馬県南牧村と新治村 ◎林活議連視察研修の日程について ・10月24日 塩尻市 ◎議員親善球技大会について ・10月6日 山ノ内町 ◎諸行事の参加について ・9月17日（土）栄小学校運動会 ・9月24日（土）北信保育園運動会 ・10月6日（木）北信地区議会議員球技大会 ・11月14日・15日 議会視察研修（総務・産社合同） ◎28年度長野県特別豪雪地帯指定町村議会協議会、栄村議会の議題について ・県道秋山郷森宮野原（停）線について引き続き要望する

